

2025 年 11 月 17 日
東京海上ホールディングス株式会社
東京海上日動火災保険株式会社

LGBTQ+に関する取り組み評価「PRIDE 指標」で「ゴールド」を連続受賞

東京海上ホールディングス株式会社(取締役社長 グループ CEO 小池 昌洋、以下「東京海上 HD」)は、任意団体「work with Pride(以下、wwP)※1」が策定した、企業・団体等における LGBTQ+※2に関する取り組みを評価する「PRIDE 指標 2025」において、2024 年度に引き続き「ゴールド」を 2 年連続で受賞しましたのでお知らせします。

また、子会社である東京海上日動火災保険株式会社(取締役社長 城田 宏明、以下「東京海上日動」)も同指標において、2022 年度以降 4 年連続で「ゴールド」を受賞しました。

※1 企業・団体等において、LGBTQ+に関するダイバーシティ・マネジメントの促進と定着を支援する任意団体。

※2 Lesbian、Gay、Bisexual、Transgender、Queer/Questioning の各語の頭文字をとった表現で、+はこれらのほかにも様々なセクシュアリティがあることを意味し、セクシャル・マイノリティを表す総称の1つです。

1. 「PRIDE 指標」について

「PRIDE 指標※3」は企業・団体等の枠組みを超えて、LGBTQ+当事者が働きやすい職場づくりを日本で実現することを目的に wwP が策定した指標です。

①Policy (行動宣言)、②Representation (当事者コミュニティ)、
③Inspiration (啓発活動)、④Development (人事制度・プログラム)、
⑤Engagement/Empowerment (社会貢献・渉外活動)の5つの評価指標で採点するものです。両社は 5 項目すべてを満たし「ゴールド」を受賞しました。

※3 詳細は wwP オフィシャルサイトをご参照ください (<https://workwithpride.jp/pride-i/>)。



2. 主な取り組み

東京海上 HD および東京海上日動は、すべての社員が持てる力を最大限発揮できるインクルーシブな職場づくりに向けて、①LGBTQ+に関する正しい理解と心理的安全性の確保、②LGBTQ+当事者を含めたすべての社員が力を最大限発揮できる人事制度、職場環境の整備③社内外への認知度向上を実現すべく、様々な取り組みを展開しています。

Policy(行動宣言)		
共通		LGBTQ+またはSOGI ^{※4} に関する差別禁止等の方針を定めています。お客様・取引先・学生・求職者等に対する姿勢についても、『東京海上グループ人権基本方針』および『東京海上グループコンプライアンス行動規範』に明文化し、公開しています。また、今年度よりPride1000 ^{※5} に賛同し、経営者のメッセージを社外に広く発信しています。
Representation(当事者コミュニティ)		
共通		アライ(支援者)を可視化するステッカーやストラップの配布や社内外の専門家が対応する相談窓口の設置等を通じて、心理的安全性の高い職場環境づくりを行っています。
東京海上HD		昨年度よりERG(Employee Resource Group) ^{※6} を創設し、イベントの企画・運営等を行っています。基礎知識やコミュニケーション事例をまとめたレインボーブックレットを作成しました。
東京海上日動		LGBTQ+当事者及びアライ(支援者)が加入できるアライチームを設置しています。インクルーシブな風土醸成に向け、定期的なイベント実施や意見交換を通じて、交流を深めています。
Inspiration(啓発活動)		
共通		LGBTQ+当事者を講師に、全社員対象のLGBTQ+理解促進セミナーを実施しています。
東京海上HD		6月のPRIDE月間 ^{※7} では日本最大級のPRIDEイベントTokyo Pride2025に出展し、LGBTQ+フレンドリー(多様な個性を受け入れる)な社会づくりを推進しています。
東京海上日動		社内の各部・支店のDE&I推進役が中心となり、情報発信や勉強会の開催などを行っています。また、新たにPrideAction30 ^{※8} への参画や、6月のPRIDE月間ではアライを表明した役員と社員のメッセージを社内イントラネット内で発信しました。
Development(人事制度・プログラム)		
共通		福利厚生等の各種制度において、同性婚を含む事実婚パートナーおよびその子も対象としています。また、希望する性に基づく通称名の使用も可能としています。
Engagement/Empowerment(社会貢献・渉外活動)		
東京海上HD		プライドハウス東京 ^{※9} に協賛し、定例交流会のメンバーとして、東京海上日動とともに他社との意見交換や各種イベント・セミナーに参画しています。アライの輪を広げるとともに、自らの意識・行動と向き合う機会としています。
東京海上日動		企業でのLGBTQ+理解促進を目指す「レインボービジネスネットワーク」など、定期的に他社との意見交換やイベントに参画し、LGBTQ+に関する情報を社員に随時発信しています。また、社外でも使用できる勉強会ツールを自社で作成し、展開しています。

※4 性的思考と性自認の英語(Sexual Orientation and Gender Identity)の頭文字をとった、人の属性を表す略語。

※5 日本社会におけるLGBTQ+に関する理解促進、および、日本企業におけるLGBTQ+の働きやすさ推進に向けて、企業経営者のアライの輪を広げ、積極的にメッセージ発信を進めていくために立ち上げた企業経営者のアライネットワーク。

※6 企業のなかで共通点を持つ従業員およびテーマに賛同したアライにより運営される組織。

※7 世界各地でLGBTQ+の権利を啓発する様々な活動が行われる期間。

※8 LGBTQ+に関する理解促進と働きやすい環境づくりを前進させることを目的とした企業連合プロジェクト。詳細はプライドハウス東京オフィシャルサイトをご参照ください(<https://pridehouse.jp/prideaction/>)。

※9 団体・個人・企業・大使館等がセクターを超えて協働するプロジェクト。LGBTQ+に関する情報発信を行うホスピタリティ施設の設置や多様性に関する様々なイベント等を提供しており、詳細は上記※8記載のオフィシャルサイトをご参照ください。

今後も、両社は社員の意識行動改革や社会への働きかけを積極的に行うことで、すべての社員が持てる力を最大限発揮できるよう取り組んでまいります。

以上